

「春」へ道内2767人挑む

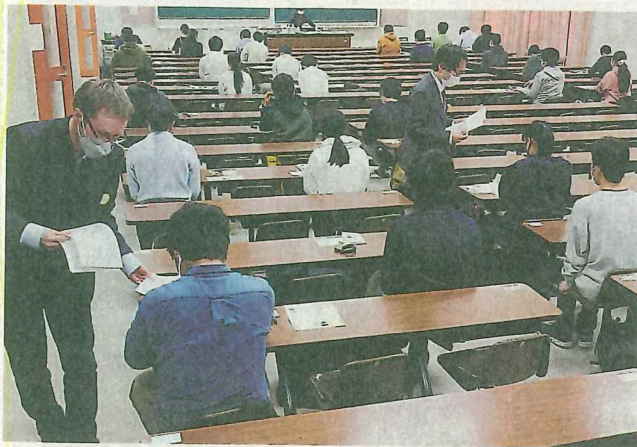
国公立大で後期2次試験

国公立大2次試験の後期日程が12日、全国の大学で始まり、道内では6大学で計2767人が学力検査や面接などに臨んだ。

札幌市北区の北大では午前9時半に試験が始まり、新型コロナウイルスの感染対策として手指消毒やマスクの着用が呼び掛けられる中、1683人が理科や小論文に挑んだ。

文部科学省によると、道内で試験を行ったのは北大のほか、道教大、帯広畜産大、旭川医科大、北見工業大、名寄市立大。各大学ともトランプはなかった。旭医大は大学入学共通テストの得点で受験生数を絞る

「二段階選抜」を行い、志願した221人のうち124人を不合格とした。個別試験を実施しない小



樽商科大など3校は、共通テストの結果などで合否を決める。後期日程で試験を行う6校を含む計9校は20日から順次、合格発表を行う。釧路公立大など4校は後期日程を設けていない。12日に試験を行った全国129大学の受験者数は計5万5300人。多くの大学ではコロナ感染などで欠席した受験生に対し、追試験や共通テストの結果で合否判定を行うなど救済措置をとる。

(光嶋るい)

北大で試験開始を待つ受験生
12日午前9時15分ごろ (打田達也撮影)